

講演タイトル：鍼灸師が分子栄養学を学ぶべき5つの理由

しまだ つとむ

講師：島田 力 先生



鍼灸師・鍼灸教員免許・臨床分子栄養医学研究会認定カウンセラー
東洋医学ライフクリエイティブ協会理事長、日本かつさ協会名誉理事

講義概要

在校生の皆さん、はじめまして。以前、東京衛生学園で専任教員をしていた島田です。皆さんは日々の勉強のなかで、患者さんを治すためにどのような治療法を選択すべきかを考えていることと思います。

私は、鍼灸によるアプローチは、どんな方法を選んでもいいと思っています。中医学でも、経絡治療でも、100本刺しても1本だけでも、刺さなくても、良いんです。でも、せっかく苦労して治しても、その患者さんの生活、特に食事がメチャクチャだったら、また再発してしまいますよね。

ということは、鍼灸治療とともに生活指導（特に食事指導）をしっかりと行う必要があるということです。

そのための強力なツールになるのが「分子栄養学」だと考えています。

今回は、この考えがいかに鍼灸師に必要なのかを分かりやすく伝えたいと思います。

現住所

神奈川県鎌倉市

趣味

読書（やや活字中毒気味）

ランニング（フルマソン完走7回）

テニス（高校時代から）

東洋医学ライフクリエイティブ協会

東洋医学ライフクリエイティブ協会は、広く東洋医学を生活に活かすための普及活動を行うことにより、社会全体の健康増進に貢献することを目的に設立されました。

セルフケア、ご家族のケアに活かせる東洋医学の基礎知識から、現在のお仕事にプラスできる東洋医学の様々な知識を学ぶことができます。

<https://www.kiryu-omlca.jp/>



【サブタイトル】：あなたの治療は本当の意味で本治になっているのか？

内容

- ・自分自身をアップデートし続けよう！
- ・現代医学が現代病を治せない理由とは？
- ・本当の意味での本治法とは何か？
- ・日本人の栄養状態はどんな状態か？
- ・分子栄養学とはどんな学問か？
- ・根本原因にアプローチすることの意味
- ・メンタルが栄養で治る？
- ・東洋医学と関連づけるとこんなことができる！

【ライブ配信】令和3年3月28日 午前10時～12時

ご略歴

- ・北海道大学文学部史学科東洋史専攻で中国古典に関する基礎知識を身に付け、その後、父である島田隆司（前日本伝統鍼灸学会会長）の影響で東洋医学の世界に進む。
- ・東京衛生学園専門学校で鍼灸師資格を取得。更に同校臨床教育専攻科に進学し教員資格を取得後そのまま母校に奉職。東洋医療系学科長補佐として鍼灸師教育と臨床の双方に従事。
- ・同校専任教員を退職後、アメリカにおける鍼灸教育の現状を視察するため一時渡米。帰国後に、千葉県松戸市のあおぞら診療所において、医師とともに在宅における鍼灸臨床に取り組む。同時期に東洋鍼灸専門学校非常勤講師として東洋医学概論などを担当。
- ・東洋医学普及のための拠点として東京都品川区にBODYWORKSPACE KI・RYUを設立。
- ・長谷柳翠医療福祉専門学校の鍼灸学科新設のため教務主任として迎えられ、カリキュラムの策定から鍼灸教育、附属治療院での治療を担当。宮城県の涌谷町町民医療福祉センター東洋医学外来設立に協力、同鍼灸科で鍼灸治療を担当。
- ・東洋鍼灸専門学校教務部長として教育カリキュラム充実のため尽力。
- ・鍼灸医学大辞典（医歯薬出版）の項目を分担執筆。
- ・東洋療法学校協会編「東洋医学概論」分担執筆。
- ・臨床分子栄養医学研究会認定カウンセラー資格取得。
- ・現在、【東洋医学×分子栄養学】の考え方を確立し、一般の方々へセルフケアの普及のために幅広く活動中。